

第1回芦原温泉駅まちづくりデザイン部会

日時 令和元年5月22日(水) 19:30～

場所 あわら市役所 203会議室

会 議 次 第

1 開 会

2 部会長あいさつ

3 協議事項

(1) 部会の見直しについて

(2) 今後のスケジュールについて

(3) 西口駅前広場（賑わい広場）整備の進捗状況について

(4) その他

6月10日(月) 19:30～ 第2回デザイン部会（101会議室）

4 閉 会

芦原温泉駅まちづくりデザイン部会員名簿

任期：平成30年4月1日～令和2年3月31日

部会員

(敬称略)

区 分	役 職	氏 名	備 考
市民		笹 原 修 之	部会長・水口区
市民		高 木 めぐみ	柿原区
市民		西 田 幸 男	新富区
市民		森 嗣一朗	天王区
市民		八 木 康 史	新みどり区
福井工業大学（デザイン学科）	教 授	川 島 洋 一	学識経験者
あわら市	理 事	鳥 山 公 裕	土木部
あわら市	参 事	中 辻 雅 浩	農林水産課
あわら市	課長補佐	細 川 正 樹	観光振興課
あわら市	課長補佐	中 島 之 裕	商工労働課
あわら市	主 査	坂 井 真 生	議会事務局
あわら市	主 査	竹 内 優 美	観光振興課

事務局

あわら市土木部新幹線まちづくり課	理 事 (兼課長)	永 井 宏 昌	
	課長補佐	翠 徳 夫	
	主 任	赤 神 貴 幸	

あわらし地域ブランド戦略会議 (地域ブランド及び芦原温泉駅周辺まちづくりを推進する最高意思決定機関)

議長：市長
委員：産官学金労の関係者
事務局：市政策課

北陸新幹線開業効果推進会議 プロジェクトチーム (庁内検討機関)

構成員：市関係部課
事務局：市(政策課・観光振興課)

近隣市町
(周遊滞在の推進)

ブランド専門部会 (地域ブランドの確立と情報の発信 に関する検討機関)

部会員：学識経験者、市民、市職員
事務局：市政策課

芦原温泉駅まちづくり デザイン部会 (芦原温泉駅西口駅前広場の活用や 駅周辺のまちづくりに関する検討機関)

部会員：学識経験者、市民、市教育委員会
事務局：市(新幹線まちづくり課・
商工労働課・観光振興課)
オブザーバー：関連業務委託業者

芦原温泉駅まちづくりデザイン部会員名簿（～H31）

任期：平成30年4月1日～令和元年5月31日

【役割】将来デザイン・まちづくりプランの素案作成

部会員（12名）

（敬称略）

区 分	役 職	氏 名	備 考
市民		笹 原 修 之	部会長・水口区
		高 木 めぐみ	柿原区
		西 田 幸 男	新富区（新富繁栄会）
		森 嗣一朗	天王区
		八 木 康 史	新みどり区
福井工業大学	教 授	川 島 洋 一	学識経験者
あわら市	理 事	鳥 山 公 裕	土木部
	課長補佐	中 辻 雅 浩	総務課
	課長補佐	細 川 正 樹	スポーツ課
	課長補佐	中 島 之 裕	企業誘致室
	主 査	坂 井 真 生	議会事務局
	主 事	竹 内 優 美	観光商工課

事務局

あわら市	課 長	永 井 宏 昌	新幹線まちづくり課
	課長補佐	山 本 紹 央	
	主 任	赤 神 貴 幸	
有限会社タイプ・エービー（伊藤孝紀デザイナー所属事業所）			

芦原温泉駅まちづくりデザイン部会員名簿（R1～）

任期：令和元年6月1日～令和2年3月31日

【役割】賑わい空間・駅周辺エリアの活用等の検討

（賑わい広場の活用、aキューブとの連携等の検討）

部会員（16名）

（敬称略）

区 分	役 職	氏 名	備 考
市民		笹 原 修 之	部会長・水口区
		高 木 めぐみ	柿原区
		西 田 幸 男	新富区（新富繁栄会）
		森 嗣一朗	天王区
		八 木 康 史	新みどり区
福井工業大学	教 授	川 島 洋 一	学識経験者
新市観光協会	事務局次長	津 田 香由紀	
新市文化協議会	副会長	堀 田 あけみ	
新市商工会青年部	代 表	松 川 秀 仁	
新JA花咲ふくい	代 表	唯 内 努	
新山口利志実	代 表	山 口 利志実	
新旅館組合	代 表	山 口 賢 司	
新音泉組	代 表	青 柳 淳 一	
新農家カフェ	代 表	藤 井 和 代	
新あわらコミュ	代 表	圓 道 千鶴子	
新ASOVIVA!	代 表	長 田 康 秀	

事務局

あわら市	理 事	永 井 宏 昌	新幹線まちづくり課
	課長補佐	翠 徳 夫	
	主 任	赤 神 貴 幸	
	課長補佐	中 島 之 裕	商工労働課
	課長補佐	細 川 正 樹	観光振興課

オブザーバー

新	(株)木下設計（西口駅前広場基本設計業務委託業者）
新	(株)コム計画研究所（まちづくり活動推進事業委託業者）

芦原温泉駅まちづくりデザイン部会スケジュール

[illegible]

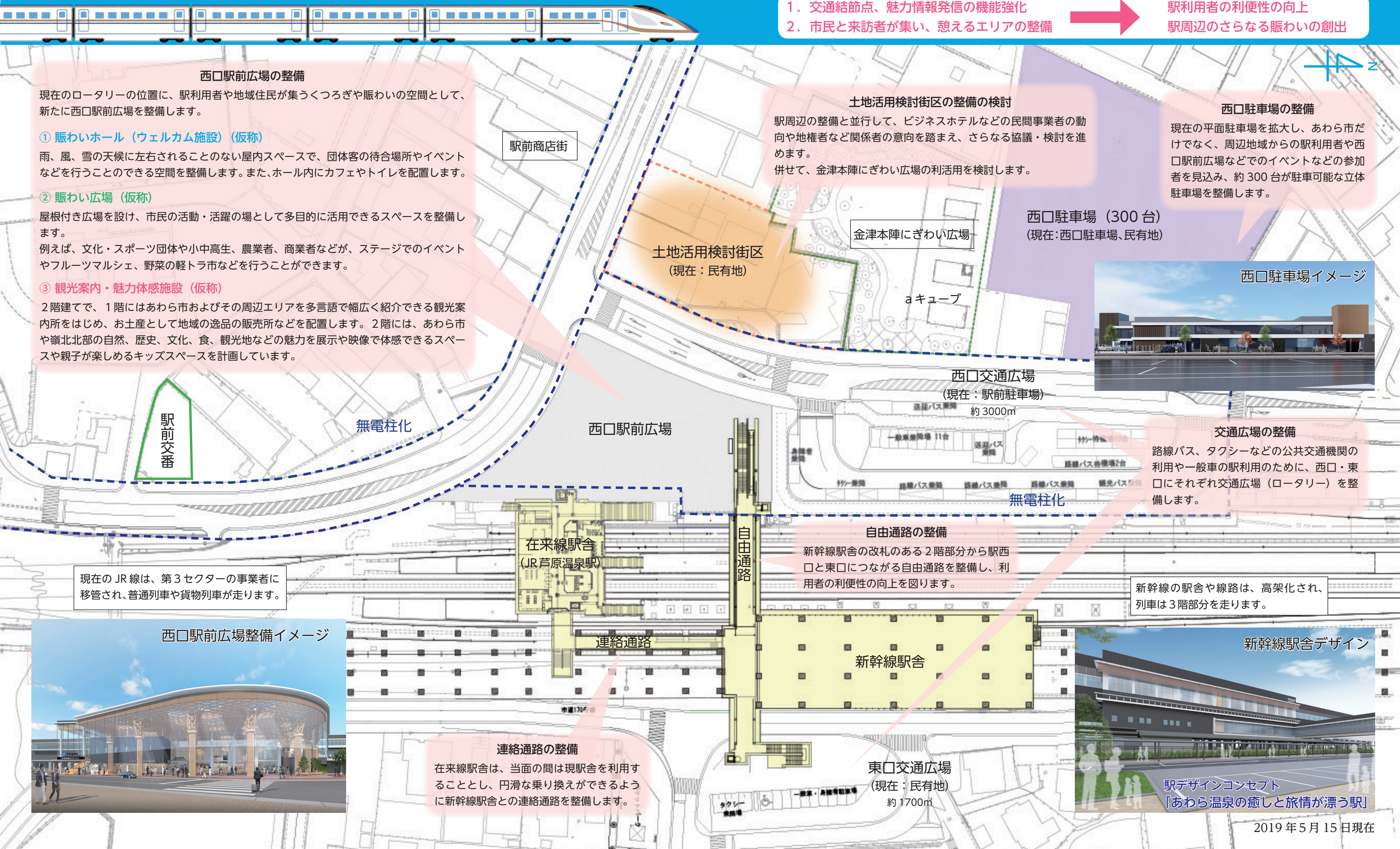
福井県の北の玄関口にふさわしい「和心あふれる賑わい空間」に!!

～芦原温泉駅周辺まちづくりプラン～

2023 年春の北陸新幹線芦原温泉駅開業に向けて、市では、芦原温泉駅周辺賑わい創出協議会やあわら市地域ブランド戦略会議などにおいて、協議・検討を行ってきました。このたび、駅および駅周辺を福井県の北の玄関口にふさわしい**交通結節点**と**魅力発信拠点**として、**駅利用者の利便性の向上**を図るとともに、**市民に親しまれ、市民と来訪者が集い、ともに憩えるエリア**として整備し、**駅周辺のさらなる賑わいを創出**するため、「芦原温泉駅周辺まちづくりプラン」を策定しました。今後は、年次計画を立て、着実に整備を進めていきます。

1. 交通結節点、魅力情報発信の機能強化
2. 市民と来訪者が集い、憩えるエリアの整備

駅利用者の利便性の向上
駅周辺のさらなる賑わいの創出



西口駅前広場の整備

現在のロータリーの位置に、駅利用者や地域住民が集うくつろぎや賑わいの空間として、新たに西口駅前広場を整備します。

① 賑わいホール（ウェルカム施設）（仮称）

雨、風、雪の天候に左右されることのない屋内スペースで、団体客の待合場所やイベントなどを行うことのできる空間を整備します。また、ホール内にカフェやトイレを配置します。

② 賑わい広場（仮称）

屋根付き広場を設け、市民の活動・活躍の場として多目的に活用できるスペースを整備します。

例えば、文化・スポーツ団体や小中高生、農業者、商業者などが、ステージでのイベントやフルーツマルシェ、野菜の軽トラ市などを行うことができます。

③ 観光案内・魅力体感施設（仮称）

2階建てで、1階にはあわら市およびその周辺エリアを多言語で幅広く紹介できる観光案内所をはじめ、お土産として地域の逸品の販売所などを配置します。2階には、あわら市や嶺北北部の自然、歴史、文化、食、観光地などの魅力を展示や映像で体感できるスペースや親子が楽しめるキッズスペースを計画しています。

駅前商店街

土地活用検討街区
(現在：民有地)

土地活用検討街区の整備の検討

駅周辺の整備と並行して、ビジネスホテルなどの民間事業者の動向や地権者など関係者の意向を踏まえ、さらなる協議・検討を進めます。

併せて、金津本陣にぎわい広場の利活用を検討します。

金津本陣にぎわい広場

aキューブ

西口駐車場 (300 台)
(現在：西口駐車場、民有地)

西口駐車場の整備

現在の平面駐車場を拡大し、あわら市だけでなく、周辺地域からの駅利用者や西口駅前広場などでのイベントなどの参加者を見込み、約 300 台が駐車可能な立体駐車場を整備します。

西口駐車場イメージ



西口交通広場
(現在：駅前駐車場)
約 3000㎡

交通広場の整備

路線バス、タクシーなどの公共交通機関の利用や一般車の駅利用のために、西口・東口にそれぞれ交通広場（ロータリー）を整備します。

自由通路の整備

新幹線駅舎の改札のある2階部分から駅西口と東口につながる自由通路を整備し、利用者の利便性の向上を図ります。

自由通路

在来線駅舎
(JR 芦原温泉駅)

連絡通路

新幹線駅舎

東口交通広場
(現在：民有地)
約 1700㎡

連絡通路の整備

在来線駅舎は、当面の間は現駅舎を利用することとし、円滑な乗り換えができるように新幹線駅舎との連絡通路を整備します。

現在の JR 線は、第3セクターの事業者に移管され、普通列車や貨物列車が走ります。

西口駅前広場整備イメージ



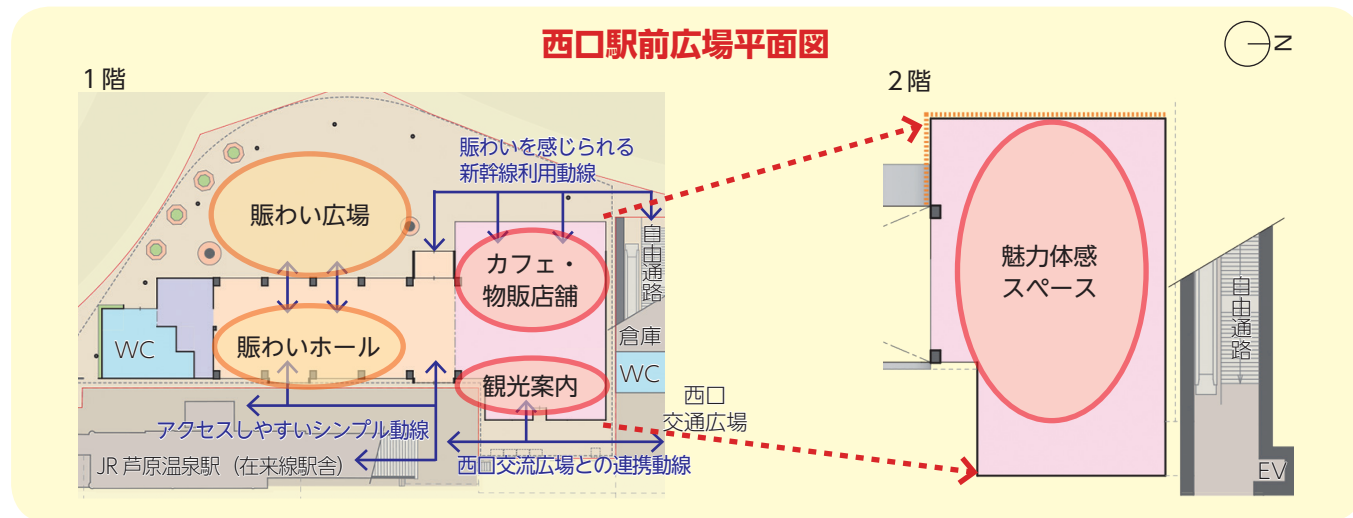
新幹線の駅舎や線路は、高架化され、列車は3階部分を走ります。

新幹線駅舎デザイン



駅デザインコンセプト
「あわら温泉の癒しと旅情が漂う駅」

2019 年 5 月 15 日現在



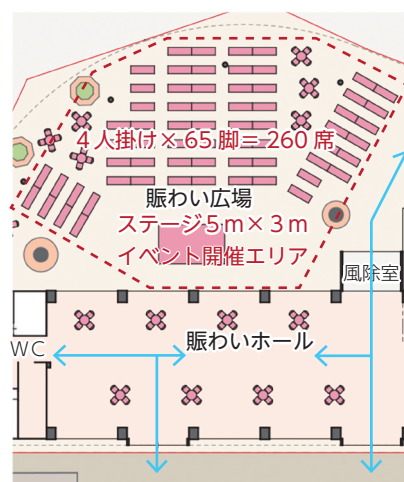
多様なイベントと多目的に活用できる空間整備

賑わいホール（屋内ホール）は、雨、風、雪といった天候に左右されることがなく、太陽の光の届く利用者の憩いの空間とし、団体旅行の待合所としても利用可能な空間です。

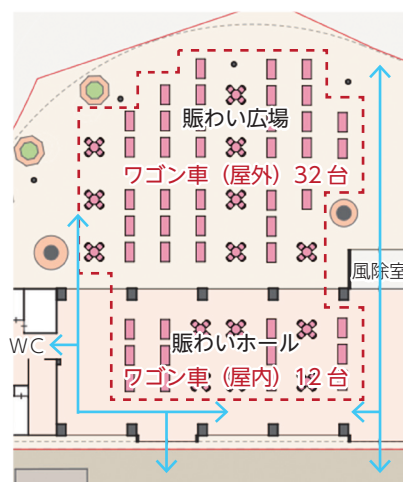
また、広場とホールの間を可動式のガラス戸とすることで、開放時には一体的な大きなスペースとして利用することができ、文化・スポーツ団体や小中高生によるステージイベント、農業者や商業者などによるフルーツマルシェや野菜の軽トラ市、ワゴン市など多目的に活用できます。

多目的活用のレイアウト参考図

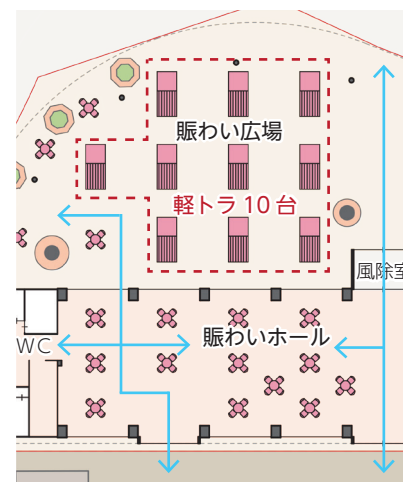
凡例 ：イベントエリア →：施設内利用動線



▲イベントステージ開催時



▲ワゴンセール開催時

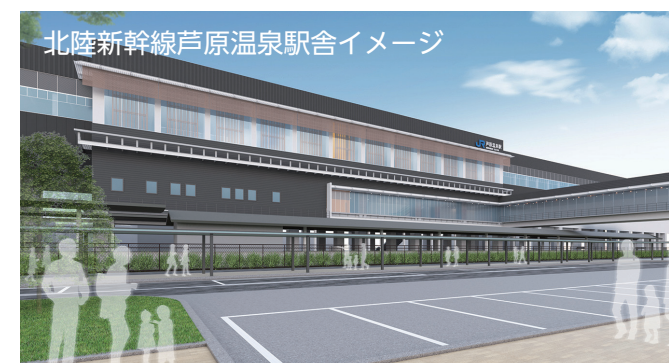


▲軽トラ市開催時

賑わい広場と賑わいホールを幅広く一体化することで、敷地全体を多様なイベントに活用できます。

また、内部と外部が一体化することで、イベント開催時の賑わいが賑わいホールから駅周辺と発信できる、まちに開かれた施設となります。

和心あふれる賑わい広場 イメージ決定！



あわらならではの和心あふれる賑わい広場

駅利用者の利便性を向上させるとともに、市民や駅利用者が集い、ともに憩えるエリアとして、駅周辺のさらなる賑わいを創出する施設を整備し、福井県の北の玄関口にふさわしい「和心あふれる賑わい広場」とします。

市指定天然記念物の「大鳥神社の大銀杏」や「沢春日神社の大杉」をモチーフとした、木のぬくもりを感じることでできる「あわらならではの」駅前広場です。

新幹線駅舎や西口立体駐車場のデザインとの調和を図るとともに、西口駅前広場から金津本陣にぎわい広場や駅前商店街といった駅南西部に対し、大きく開かれた施設配置とすることで、まち歩きを促し、駅周辺と一体となった賑わいの創出を図ります。

日中は、樹木のような大屋根を支える柱に囲まれ、柔らかな光が差し込む森の中にいるかのような広場に、また日没後は、柱上部を「ぼんぼり」のイメージを醸し出すように、内部から間接照明などで優しく照らし出すといった、和心を感じることができ憩いの場になります。

問合せ 観光振興課 ☎73・8029